

平成 21 年度秋期 FE, IP 試験に向けての考察

平成 21 年度春期 FE (基本情報技術者), IP (IT パスポート) 試験の合格発表が 5 月 26 日に行われ、特に専門学校にとっては、厳しい結果でした。

情報処理教育研究室では、専門学校の先生方からご意見をいただきました。集計結果をご報告いたします。

基本情報技術者試験

表 1 に、基本情報技術者試験の結果を示します

表 1 平成 21 年度春期基本情報技術者試験の結果

	応募者人数	受験者人数	合格者人数	合格率
専門学校	6,850	5,871	1,127	19.2%
高校	1,813	1,700	335	19.7%
大学・短大など	15,337	12,304	3,420	27.8%
社会人など	66,752	44,669	12,803	28.7%
全体	90,752	64,544	17,685	27.4%

最も衝撃であったのは、合格率が高校生よりも専門学校生の方が低かったことです。これは、基本情報技術者試験が開始されてから初めてのことです。

表 2 に、平成 20 年秋期基本情報技術者試験の結果を示します

表 2 平成 20 年度秋期基本情報技術者試験の結果

	応募者人数	受験者人数	合格者人数	合格率
専門学校	10,547	9,239	2,243	24.3%
高校	2,092	1,942	286	14.7%
大学・短大など	15,465	11,752	3,221	27.4%
社会人など	73,448	50,316	11,324	22.5%
全体	101,552	73,249	17,074	23.3%

平成 20 年度秋期の合格率は、高校生よりも専門学校生の方が約 10%高かったのに、平成 21 年度春期の新試験開始とともに、どうして合格率は反転してしまったのでしょうか。

先生方が指摘されたことは、次の 2 点です。

1. 平成 20 年度秋期に合格すべき学生は合格しており、平成 21 年度春期は合格までもっていける学生の比率が少なかった。
2. 午後問題の説明文が詳細になり、読解力や思考力が要求された。

専門学校での 1 年次秋期（初回受験）と 2 年次春期（2 回目受験）の合格率を平成 16 年度秋期からみると、表 3 のようになります。また、高校は表 4 のようになります。

表 3 専門学校の基本情報技術者試験の合格率

1 年次秋期	H16 秋	H17 秋	H18 秋	H19 秋	H20 秋
	16.9%	14.0%	26.3%	23.9%	24.3%
2 年次春期	H17 春	H18 春	H19 春	H20 春	H21 春
	16.5%	14.8%	21.2%	24.5%	19.2%

表 4 高校の基本情報技術者試験の合格率

H16 秋	H17 秋	H18 秋	H19 秋	H20 秋
9.3%	8.8%	15.4%	16.8%	14.7%
H17 春	H18 春	H19 春	H20 春	H21 春
13.3%	11.1%	17.7%	18.0%	19.7%

表 3 から、平成 20 年度秋期の専門学校の合格率が極端に高かったとは言えません。表 3 と表 4 から次のことが言えます。

1. 表 3 と表 4 で、平成 18 年度秋期より合格率が上がっているのは、午前試験の免除制度が影響していると考えます。ただし、専門学校において、平成 21 年度春期は午前試験免除者が午後試験で不合格になったケースが多いように聞いています。
2. 表 4 から高校は、春期では平成 18 年度～平成 21 年度と順調に合格率を上げてきています。以上のことより、確かに“平成 21 年度春期は合格までもっていける学生の比率が少なかった”専門学校もあるとは思いますが、午後試験の対策が平成 21 年度秋期のポイントになると考えます。

次に、午後問題のページ数を比較してみますと表5のようになります。

表5 問別ページ数

平成 21 年度春期			平成 20 年度秋期		
問 1～問 7：7 問中 5 問選択 問 8：1 問必須 問 9～問 13：5 問中 1 問選択			問 1～問 5：5 問必須 問 6～問 9：4 問中 1 問選択 問 10～問 13：4 問中 1 問選択		
問	出題分野	ページ数	問	出題分野	ページ数
問 1	ハードウェア	3	問 1	ネットワーク	2
問 2	ソフトウェア	3	問 2	擬似言語	4
問 3	データベース	3	問 3	データベース	3
問 4	情報セキュリティ	3	問 4	アルゴリズム	5
問 5	ソフトウェア設計	3	問 5	プログラム設計	6
問 6	プロジェクトマネジメント	4	問 6	C	3
問 7	経営・関連法規	4	問 7	COBOL	4
問 8	データ構造とアルゴリズム	5	問 8	Java	4
問 9	C	5	問 9	アセンブラ	3
問 10	COBOL	5	問 10	C	6
問 11	Java	6	問 11	COBOL	6
問 12	アセンブラ	4	問 12	Java	6
問 13	表計算	4	問 13	アセンブラ	4

例えば、C 言語選択者で、平成 21 年度春期において問 1～問 5 を選択した場合、平成 21 年度春期と平成 20 年度秋期の総ページ数は、次のようになります。

平成 21 年度春期の総ページ数 = 25 ページ

平成 20 年度秋期の総ページ数 = 29 ページ

単純に総ページ数の比較では、平成 21 年度春期よりも平成 20 年度秋期の方が多くことになります。ここで、考えることは平成 21 年度春期の問 1～問 7 の 7 問中 5 問選択で多くの受験者が苦労したと思います。

問 6 のプロジェクトマネジメントと問 7 の経営・関連法規は新分野であるため、問 1～問 5 をまず解法したと思います。ところが、問 2 と問 5 の難易度が高く、この 2 問をあきらめて問 6 と問 7 を解法した受験者も多いと聞いています。その場合 8 ページがプラスされ、総ページ数 33 ページとなり、平成 20 年度秋期よりも多くなります。

“ 午後問題の説明文が詳細になり、読解力や思考力が要求された ” ことも含めて考えると、答案練習が重要になります。初級システムアドミニストレータ試験・午後問題の問 1～問 4 は 4 ページの問題がほとんどであり、ストラテジ系、マネジメント系、ネットワーク、情報セキュリティなどの対策になります。

最後に、選択言語の表計算の難易度が低かった点ですが、他の言語とのバランスを考えると平成 21 年度秋期は難易度が上がる可能性が高いと思います。安易に他の言語から表計算への切り替えは避けた方がよいと考えます。

IT パスポート試験

表 6 に平成 21 年度春期 IT パスポート試験の結果を示します。

表 6 平成 21 年度春期 IT パスポート試験の結果

	応募者人数	応募者構成比	受験者人数	合格者人数	合格率
専門学校	2,338	5.0%	2,046	910	44.5%
高校	5,781	12.3%	5,494	1,971	35.9%
大学・短大など	5,459	11.7%	4,709	3,446	73.2%
社会人その他	33,267	71.0%	26,882	22,213	82.6%
全体	46,845	100.0%	39,131	28,540	72.9%

専門学校の合格率が 50%を下回ったことにより、何らかの対策が必要になると考えます。もし、合格率が 80%程度なら目標資格の位置づけよりも全員合格を目指す資格になりますが、現状の合格率では、カリキュラム、テキスト、問題集、模擬試験などを含めた対応が必要になり、目標資格に位置づけ、高合格率を達成してライバル校との差別化をはかる戦略が成立すると考えます。

今後の受験動向に関して、専門学校の先生方へのアンケートをまとめると次のようになります。

1. 平成 20 年度に初級システムアドミニストレータ試験を受験していた学科のうち、約 6 割が IT パスポート試験に、残りの約 4 割が基本情報技術者試験にシフトします。
2. 基本情報技術者試験の学習を行った学生において、基本情報技術者試験の合格が困難な学生を IT パスポート試験の受験にシフトする方式が考えられています。
 - 1 年次 10 月受験前に振り分ける・・・約 2 割の専門学校
 - 2 年次 4 月受験前に振り分ける・・・約 4 割の専門学校
 - 2 年次 10 月受験前に振り分ける・・・約 3 割の専門学校
 - 最後まで全員基本情報技術者試験を目指す・・・約 1 割の専門学校
3. 基本情報技術者試験の午前試験免除者全員に IT パスポート試験を同時受験させることも考えられています。(1 校)

出題分野別の対策などは、別途 Web に掲載します。ご期待ください。